

日本技術者教育認定制度（JABEE）の審査について

工学部材料科学科、機械システム工学科、電子システム工学科のカリキュラムは平成 20 年度より日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受けることを前提として構成された技術者教育プログラムになっています。平成 23 年度には JABEE 認定審査を受ける予定です。各学科の教育プログラムが JABEE プログラムに認定されると、認定されたプログラムを修了した卒業生は技術士第一次試験が免除されます。

JABEE 認定を受ける予定をしているプログラムは次の通りです。

材料科学科 機械システム工学科 電子システム工学科
各プログラムの詳細については各学科の履修の手引の項を見てください。

（以下 JABEE ホームページ <http://www.jabee.org/>より抜粋）

JABEE とは

日本技術者教育認定機構（JABEE : Japan Accreditation Board for Engineering Education / 設立 平成 11 年 11 月 19 日）は、技術系学協会と密接に連携しながら技術者教育プログラムの審査・認定を行う非政府団体です。

日本技術者教育認定制度とは

大学など高等教育機関で実施されている技術者教育プログラムが、社会の要求水準を満たしているかどうかを外部機関が公平に評価し、要求水準を満たしている教育プログラムを認定する専門認定（Professional Accreditation）制度です。

技術者教育認定の目的

JABEE の目的は、「統一的基準に基づいて高等教育機関における技術者教育プログラムの認定を行い、その国際的な同等性を確保するとともに、技術者教育の向上と国際的に通用する技術者の育成を通じて社会と産業の発展に寄与すること」です。

具体的には、以下の項目があります。

- (1) 認定審査を実施し、認定されたプログラムを世界に公表する。
- (2) 優れた教育方法の導入を促進する。
- (3) 認定を通じて技術者教育の評価方法を発展させると共に、評価に関する専門家を育成する。
- (4) 教育活動に対する組織の責任と個人の役割を明確にすると共に、教員の教育に対する貢献を評価する。
- (5) ワシントン協定に加盟する。

なお、認定を受けたプログラムの修了者は国家資格である技術士第一次試験を免除されます。要するにプロ意識を持った多くの優れた技術者の育成に寄与するのが目的とも言えます。平成 17 年 6 月には、技術者教育の質的同等性を国際的に認め合う枠組み－ワシントン協定（Washington Accord）への加盟が認められ、JABEE 認定に世界公認ラベルが貼られました。

技術者教育の認定とは

技術者教育の認定とは、以下の二つを行い、基準を満たしている技術者教育プログラムを公表することで、そのプログラムの修了者が将来技術業等につくために必要な教育を受けていることを社会（世界）に公表することです。

- (1) 教育プログラムで技術者教育の質の保証が確実になされているかどうかの確認、すなわち、「質の保証システム」の監査（Audit）
- (2) 保証されている水準が定められた認定基準以上かどうかの審査

ここで、「教育プログラム」とは、カリキュラムのみならず、教育方法、教育設備・環境、教員、評価等を含む全教育システムのことです。

また、「教育の質を保証する」とは、「プログラムに関与する全ての関係者（学生を含む）が、適切な学習目標の設定やその達成に関して何をなすべきかを認識し、確実に実施し、学習目標を達成した学生のみを卒業させ、さらに学習目標とその達成度のレベルを継続的に向上させていること」です。

ここで、「適切な学習目標」は、学問的水準、社会の期待、学生の希望、雇用者の要求、専門職の要求等種々の要求(水準も含む)を考慮して教育側で決定すべきものです。